



週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシは続落、大豆は反発

発行日 : 2020/7/22



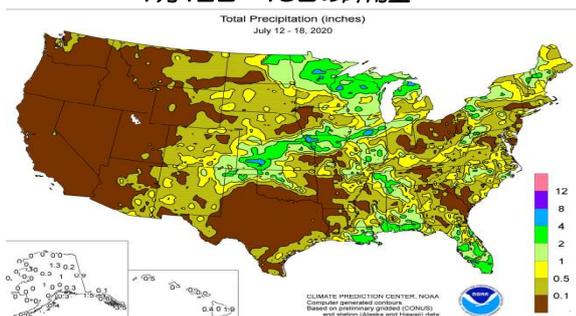
21日のシカゴトウモロコシ9月限は前日比▲5.50セントの322.75セント。取引レンジは322.00セント～327.75セント。中心限月の12月限は前日比▲5.00セントの330.75セント。取引レンジは322.00セント～327.75セント。前日のシカゴ日中取引終了後に米農務省（USDA）が発表した作柄報告で、事前予想に反して「良」以上の割合が前週と同率とされ、順調な生育進展が確認出来たことから売りが先行した。さらに米産地では今週後半まで雨がちな天気が広がるとの予測が発表されたことで、生育に理想的な天候が続くことから、下値を探る動きとなりこの日の安値に近い水準で引けた。

21日のシカゴ大豆8月限は前日比▲6.50セントの896.50セント。取引レンジは895.00セント～902.50セント。中心限月の11月限は前日比▲7.00セントの893.00セント。取引レンジは890.50セント～899.25セント。前日のシカゴ日中取引終了後に米農務省（USDA）が発表した作柄報告で、良以上の割合が前週の68%から69%に引き上げられたことから売りが先行した。ただ、中国が12万6000トンの米国産大豆を購入したとUSDAが発表したことを受けて、一時902.50セントまで上昇したが、米産地で今週は生育に適した天候になると予測されていることに加え、最近の上昇を受けた利益確定売りも出たことから反落した。

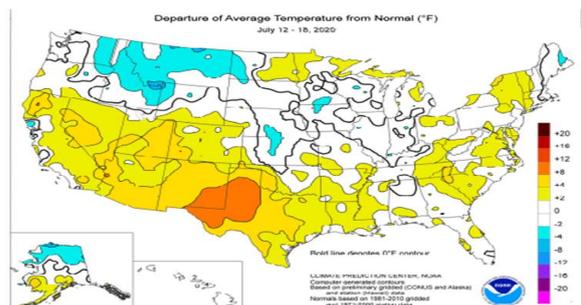
21日のシカゴ小麦9月限は前日比+5.75セントの527.75セント。取引レンジは518.50セント～531.50セント。中心限月の12月限は前日比+5.00セントの533.75セント。外国為替市場でドル安となったことから、米国産小麦の輸出需要が拡大するとの思惑から買いが優勢だった。

6月14日～21日の週の米国の天候 by Weekly Weather and Crop Bulletin of USDA

7月12日～18日の降雨量

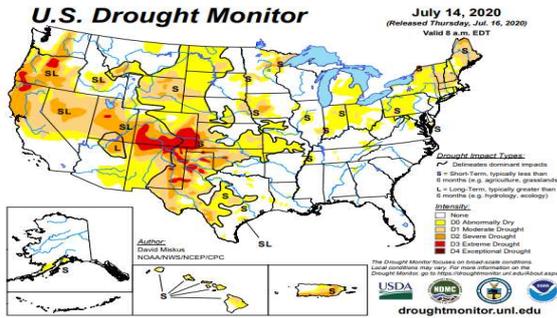


7月12日～18日の気温の平年

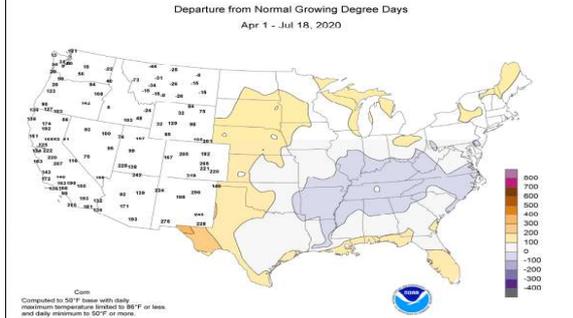




7月14日の干ばつモニター



4月1日~7月16日までの生育平年



中西部ではトウモロコシと大豆が結実し成長段階に入っているが、降雨は時々降っており、中部と上部ミシシッピー渓谷では大量の降雨があった。しかしインディアナ州、ミシガン州、オハイオ州等東部コーンベルトの一部では、乾燥した天候となっている。中部平原には恵の雨が降った。一方降雨は南部からテキサス州北西部までであった。北部平原では、散発的な降雨や平年並みか、少し下回る程度の降雨があるため、生育に問題はなく、一方南部平原及びロッキー山脈南部や高地では乾燥した天候が続いている。

Crop Progress

トウモロコシ				18州
Silking	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	2%	2%	
6月28日	2%	4%	7%	
7月5日	7%	10%	16%	
7月12日	14%	29%	32%	
7月19日	30%	59%	54%	

トウモロコシ				18州
Dough	前年度	2020年度	過去5年平均	
7月12日	2%	3%	3%	
7月19日	4%	9%	7%	

トウモロコシ						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月24日	1%	4%	25%	58%	12%	70%
5月31日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月7日	1%	3%	21%	60%	15%	75%
6月14日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月21日	1%	4%	24%	56%	15%	71%
6月28日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月5日	1%	4%	22%	57%	16%	73%
7月12日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
7月19日	2%	6%	23%	52%	17%	69%
前年度	3%	10%	30%	47%	10%	57%

大豆				18州
Blooming	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	1%	5%	5%	
6月28日	2%	14%	11%	
7月5日	8%	31%	24%	
7月12日	19%	48%	40%	
7月19日	35%	64%	57%	

大豆				18州
Setting Pods	前年度	2020年度	過去5年平均	
7月5日	1%	2%	4%	
7月12日	3%	11%	10%	
7月19日	6%	25%	21%	

大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月21日	1%	4%	25%	58%	12%	70%
6月28日	1%	4%	24%	58%	13%	71%
7月5日	1%	4%	24%	57%	14%	71%
7月12日	2%	5%	25%	54%	14%	68%
7月19日	2%	5%	24%	54%	15%	69%
前年度	3%	9%	34%	46%	8%	54%

冬小麦				18州
Harvested	前年度	2020年度	過去5年平均	
5月31日	1%	3%	2%	
6月7日	3%	7%	7%	
6月14日	7%	15%	15%	
6月21日	13%	29%	26%	
6月28日	26%	41%	41%	
7月5日	42%	56%	55%	
7月12日	54%	68%	66%	
7月19日	66%	74%	75%	

春小麦				18州
Headed	前年度	2020年度	過去5年平均	
6月21日	6%	12%	22%	
6月28日	20%	36%	45%	
7月5日	47%	63%	58%	
7月12日	72%	80%	85%	
7月19日	88%	91%	94%	

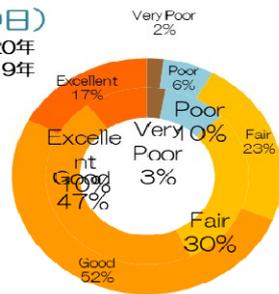


春小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
6月7日	0%	1%	17%	72%	10%	82%
6月14日	0%	2%	17%	73%	8%	81%
6月21日	1%	3%	21%	68%	7%	75%
6月28日	1%	5%	25%	60%	9%	69%
7月5日	6%	11%	32%	41%	10%	51%
7月12日	2%	6%	24%	57%	11%	68%
7月19日	2%	5%	25%	55%	13%	68%
前年度	0%	4%	20%	63%	13%	76%

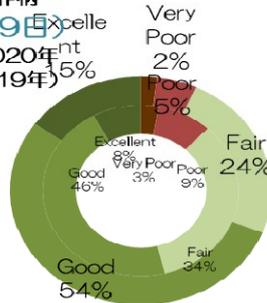
7月19日の米国産トウモロコシのSilkingは59%完了（前年は30%、過去5年平均は54%） Doughが9%（前年は4%、過去5年平均は7%）トウモロコシの作柄は優と良が69%、大豆は、Bloomingが64%と完了（前年は35%、過去5年平均は57%）Setting Podsが25%完了、（前年は6%、過去5年平均は21%）作柄は優と良が69%。冬小麦の収穫は75%完了（前年は66%、過去5年平均は75%）春小麦のHeadedは91%完了（前年は88%、過去5年平均は94%）作柄は優と良が68%。（前年は76%）



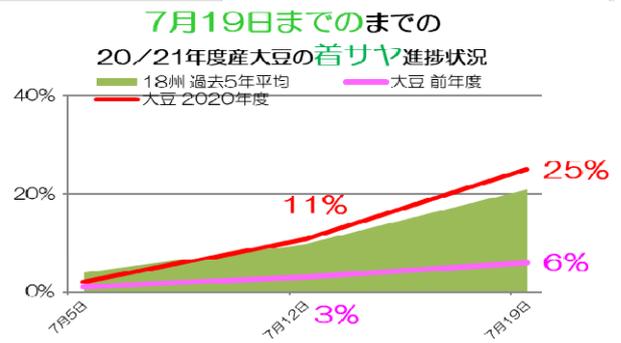
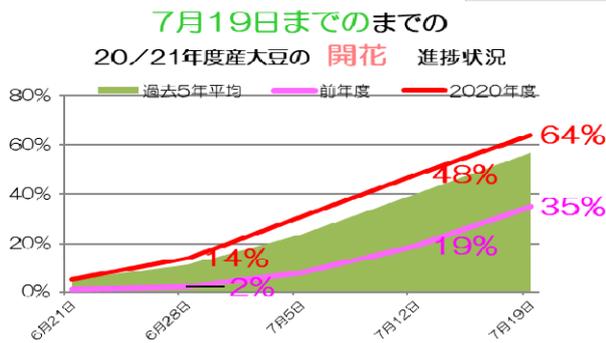
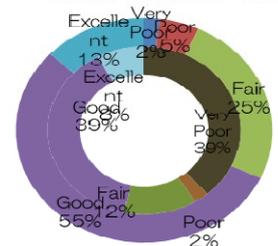
トウモロコシの作柄 (7月19日)



大豆の作柄 (7月19日)



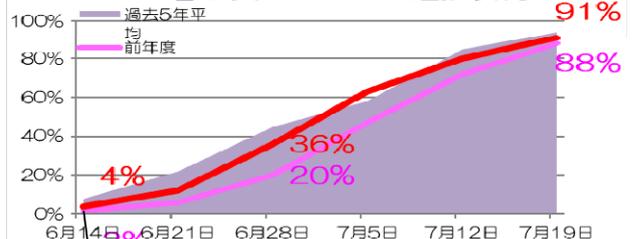
2020年7月19日春小麦の作柄



7月19日まで20/21年度米国産冬小麦の収穫進捗状況



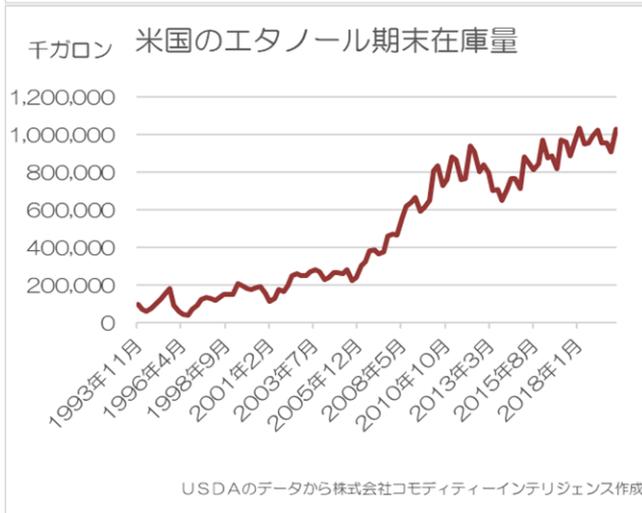
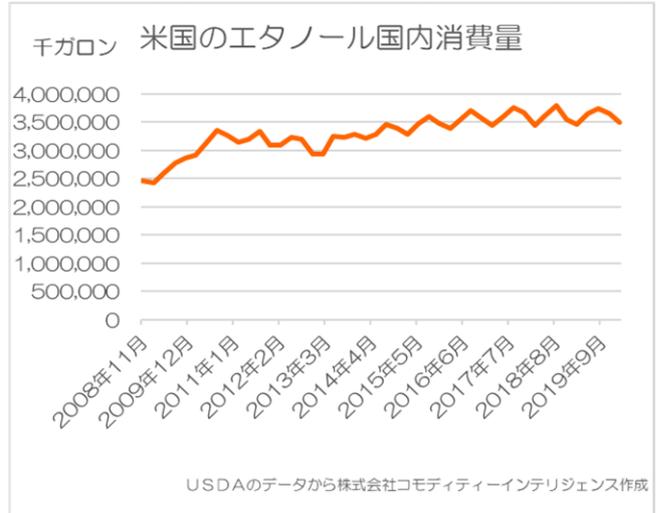
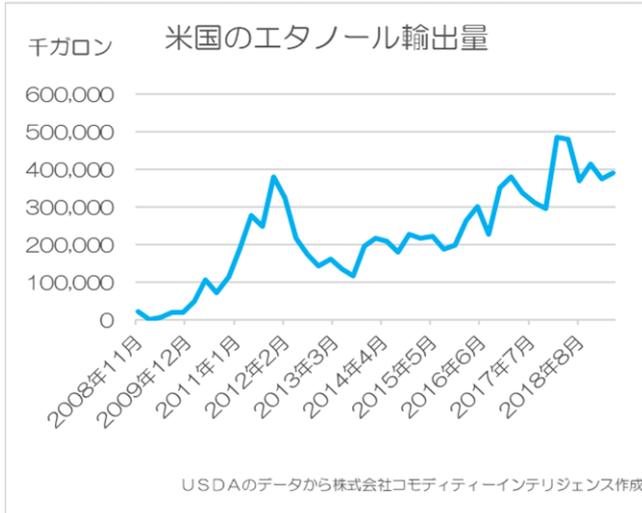
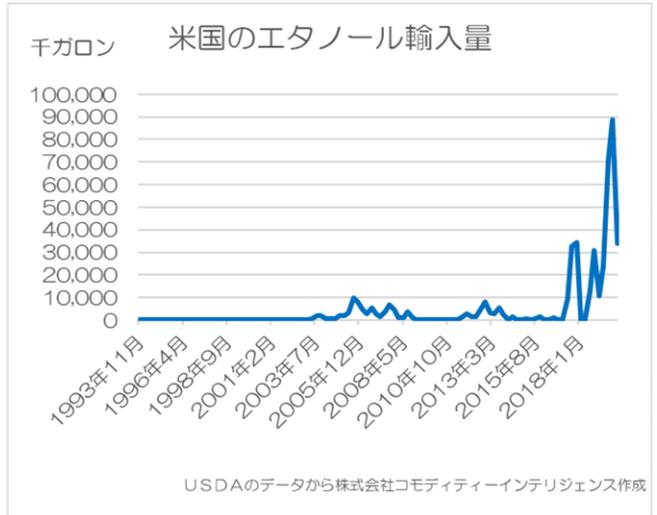
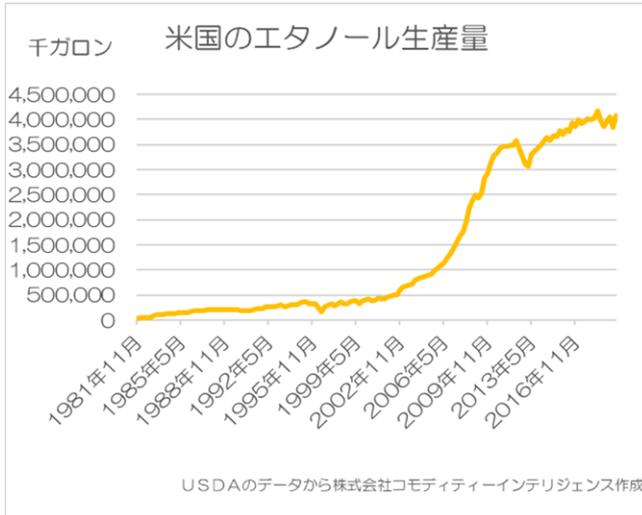
7月19日まで20/21年度米国産春小麦のHeaded進捗状況





TOPIC s 1981年以來の米国のエタノール需給の推移

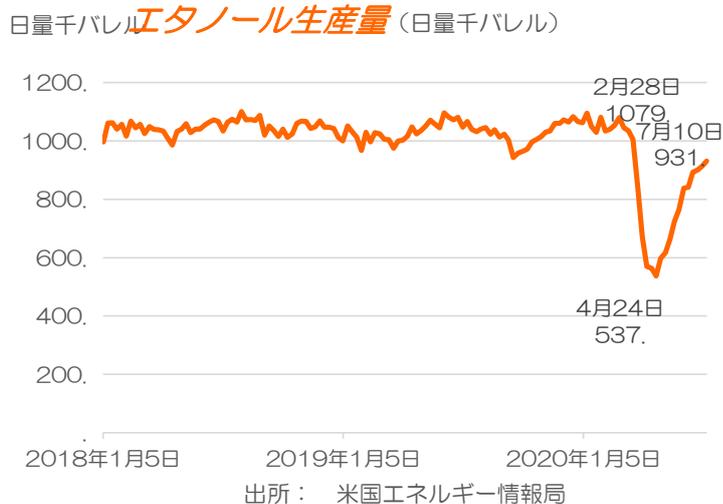
米国USDAにより1981年以來のエタノールの四半期ごとの需給統計が公表されていたので、これをグラフ化してみた。





- ★ エタノール生産量は、1981年9月から統計が取られているが、3ヵ月で30万ガロンを超えたのは1993年12月からである。
- ★ 米国でエタノール生産量が最大となったのは、2018年6月～8月の3ヵ月で、41億6,333万ガロン生産された。
- ★ エタノールの輸入は1993年9月から記録されているが、輸入量が最も多かったのは2019年9月～11月の3ヵ月で、8,878万ガロンだった。
- ★ 国内生産と輸入量が最も多かったのは、このデータの最新月となる2019年12月～2020年2月の3ヵ月で、合計69億7,132万ガロンだった。
- ★ 輸出は2008年9月～11月の時期から始まったが、最も輸出が多かったのは、このデータの最新月となる2019年12月～2020年2月の4億9,207万ガロンだった。
- ★ 国内消費は1993年9月から記録されているが、最も多かったのは、2018年6月～8月の3ヵ月で、37億9,843万ガロンだった。
- ★ 期末在庫は1993年9月から記録されているが、最も多かったのは、2017年12月～2月の3ヵ月で、10億3,832万ガロンだった。

TOPICs 直近のエタノール需要の状況

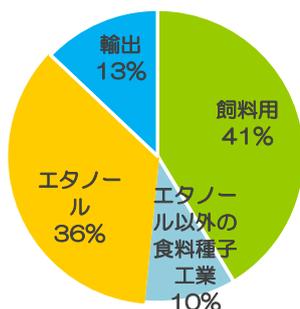


今年の2月には日量107万9千バレルの生産量があったエタノールは、4月24日、日量53万7千バレルまで、▲54万2千バレルと半減した。

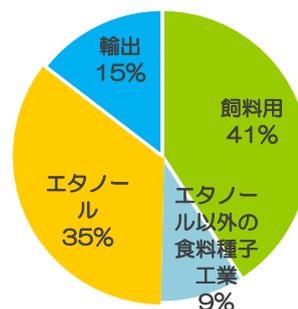
EIA（米エネルギー情報局）による最新のデータでは、7月10日時点で93万1千バレルと2月の86%まで回復している。

米国におけるエタノールの需要は米国産トウモロコシの需要の約35%を占めている

19/20年度
米国産トウモロコシの需要分野



20/21年度
米国産トウモロコシの需要分野



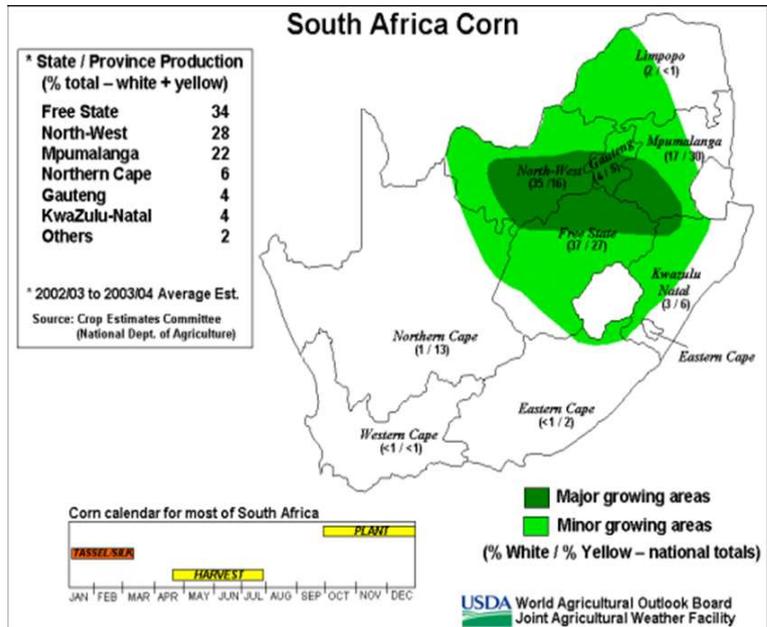


TOPICS 南アフリカのトウモロコシ需給

19/20年度は過去2番目に多い生産量

南アの19/20年度のトウモロコシ生産量は過去二番目に多い生産量の1610万トンを生産した。そのため、国内トウモロコシ価格が下落し2020年後半に作付けする2020/21年度産の作付け面積は大幅に減少し、それに伴い生産量も減少する見込み。20/21年度産の南アのトウモロコシ生産量は前年度比▲21%減の1,260万トンになると思われる。それでも南アは、在庫が多いため、20/21年度もとうもろこしを輸出してネット輸出国となるだろう。

19/20年度の南アのトウモロコシ輸出量は250万トンだった。

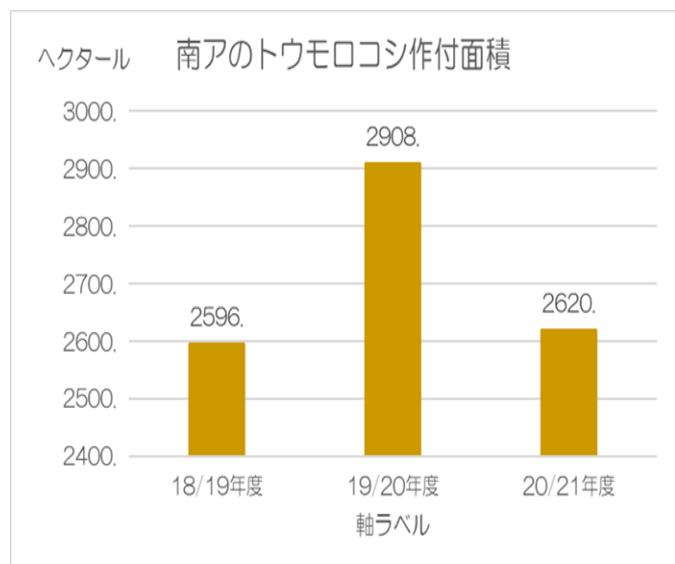


		18/19年度			19/20年度					20/21年度						
		作付面積	単収	生産量	作付面積	前年比	単収	前年比	生産量	前年比	作付面積	前年比	単収	前年比	生産量	前年比
		千ha	トン/ha	千トン	千ha		トン/ha		千トン		千ha		トン/ha		千トン	
商業用	白トウモロコシ	1,298	4.3	5,545	1,616	+318	5.6	+1.3	9,075	+3,530	1,270	▲346	4.7	▲0.9	6,000	▲3,075
	黄色トウモロコシ	1,002	5.7	5,730	995	▲7	6.5	+0.8	6,439	+709	1,050	+55	5.8	▲0.7	6,100	▲339
	小計	2,300	4.9	11,275	2,611	+311	5.9	+1.0	15,514	+4,239	2,320	▲291	5.2	▲0.7	12,100	▲3,414
自給自足用	白トウモロコシ	221	1.7	379	222	+1	1.7	+0.0	375	▲4	200	▲22	1.6	▲0.1	320	▲55
	黄色トウモロコシ	75	2.3	170	75	+0	2.2	▲0.1	168	▲2	100	+25	2.2	+0.0	220	+52
	小計	296	1.9	549	297	+1	1.8	▲0.1	543	▲6	300	+3	1.9	+0.1	540	▲3
合計	2,596	4.5	11,807	2,908	+312	5.5	+1.0	16,057	+4,250	2,620	▲288	4.8	▲0.7	12,640	▲3,417	

作付け面積

南アには、商業用のトウモロコシ生産量と、自給自足用に栽培される国内消費用トウモロコシが区別されている。またトウモロコシの品種として白トウモロコシと黄色トウモロコシが区分されている。19/20年度は白トウモロコシの生産量が907万トン、黄色トウモロコシは643万トンであった。

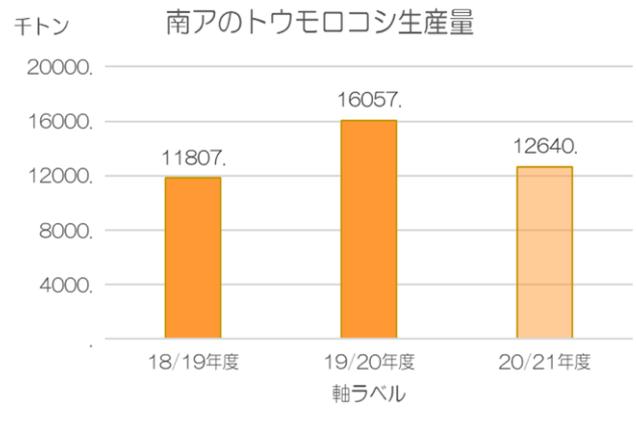
作付け面積は、合計で18/19年度が260万ヘクタールから、19/20年度は1605万ヘクタールに大幅に増えたが、20/21年度は1260万ヘクタールに約▲9%縮小する見込み





生産量

南アのトウモロコシ生産量は、合計で、18/19年度が1180万トン、19/20年度は1605万トン、20/21年度は1264万トンに約▲21%減少する見込み。



輸出量

18/19年度は144万トンのトウモロコシを主にアフリカ諸国に輸出したが、

19/20年度は在庫が多いため、輸出は250万トンになると思われる。すでに47万トンは契約済みで、韓国、台湾、日本などが購入している。

20/21年度も南アは60万トンを輸出すると見込まれてネット輸出国であり続ける。在庫が比較的多いため、近隣諸国向けが増加すると見られている。

新型コロナウイルスの影響を受けて3月27日からロックダウンが行われている。

	18/19年度	19/20年度
千トン	19年5月～20年4月	20年5月～21年4月
ジンバブウェ	340.	103.
ボツワナ	276.	49.
ナミビア	247.	20.
モザンビーク	212.	18.
エスワチニ	154.	19.
エチオピア	74.	
レソト	65.	7.
ソマリア	23.	
タンザニア	23.	
ウガンダ	20.	
北朝鮮	9.	
韓国	6.	112.
台湾		106.
日本		45.
合計	1449.	479.

TOPIECs 中国でトウモロコシ価格が値上がりし、飼料用に国家がコメの在庫を放

中国ではとうもろこし価格が2割以上値上がりし、家畜を飼育している農家が困窮しているため、中国政府はコメを1000万トン在庫放出するという。

今後の予想

南アは生産量も輸出量の世界全体の1%程度のシェアであるが、韓国や日本が買い付け始めたため、取り上げてみた。個人的には何度も南アに行っており、車窓から貧民窟のそばに大きな畑がたくさんあり、これは何かと聞くと、Meizeだと答えられた。何のことだろうと不思議に思っていたが、英語では「とうもろこし」のことを”Meize”と言う。そう言われれば、黄色い穂筒がいっぱいぶら下がっていたような気がする。

中国でトウモロコシ価格が上昇しているようだ。理由は定かではない。

米国産トウモロコシは、無事に受粉の時期を乗り越えて、干ばつ被害には遭っていない。7月19日の作柄は優と良が69%で全く問題ない。



ご案内

You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時 Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。 <https://gold-tv.net/>

日本経済新聞電子版で商品投資の解説を6月1日より毎月1回半年間解説

6月1日より毎月月初に2章ずつ合計8章の文章を掲載中です。サイトは日経電子版の『マーケット』の中の『商品』欄の右側にある『PR』欄の『一覧はこちら』から一番下にある『大阪取引所』の『商品取引入門』にあります。 https://ps.nikkei.co.jp/ose2020/index.html?n_cid=P_SDB0021



大阪商品取引所の北浜投資塾で『金の基礎知識』の動画解説放映中

JPX日本取引所グループの『大阪取引所』の『北浜投資塾』の『先物・オプション』の『その他・すべての戦略動画はこちら』の中で『金の基礎知識』の動画を放映中です。全部で12章ありますが、現在は右の6章のみ掲載中です。 https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/futures_option/list.html



掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っておりません。また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物の修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス 4東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
 ☎社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
 メールアドレス: kondo@commi.cc